

とうべつ

手にとって ^{ぐ〜っと}good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 224

令和8年2月1日発行

CONTENTS

12月定例会・12月臨時会

道の駅の冷房工事、介護人材確保支援事業ほか・・・p. 2

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会で審議された議案の解説

6人の議員が町の考えを質す・・・p. 6

- ・当別長生会の運営状況は
- ・安心・安全の当別町に
- ・多文化共生と多様性を認め合う町
- ・町内図書館の現状と今後の展開
- ・町民目線で！わかりやすい発信を
- ・養護老人ホームと不登校対応

さまざまな議案に対する審議等が行われました・・・p. 12

道内所管事務調査、12月定例会、12月臨時会



災害はいつ起こるか分かりません。日頃の備えが大切です（11月9日当別町防災講演会）



委員会まとめレポート

総務文教常任委員会（12/8、12/25）、
産業厚生常任委員会（12/9、12/25）を開催し、
提出された議案等が適切か、審査を行いました。
ここでは、主な議案の内容を解説します。

議案第1号 令和7年度当別町一般会計補正予算（第5号）

道の駅の冷房等の改修工事を実施

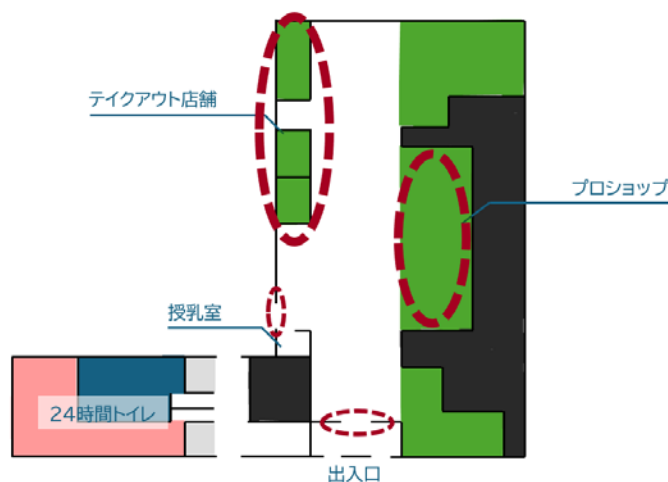
近年の温暖化に加え、利用者の増加に伴い、道の駅内各施設の温度上昇が課題となっています。従業員の労働環境の安全を確保するとともに、食料品の品質低下を防ぐことを目的として、冷房・排気設備の改修工事費用2,020万円の増額を行いました。

- テイクアウト3店舗の冷房改修
- テイクアウト店舗の排気設備改修
- プロショップの冷房改修
- 駐車場側出入口、授乳室横出入口に
エアカーテンの設置

《改修工事の予定期間》

令和8年2月上旬～令和8年3月31日

- ・ 期間中、改修工事のため店舗をご利用
いただけない場合がございます
- ・ 毎週水曜日は定休日です



議員の質問・町の回答

Q. 3店舗の冷房改修のきっかけは

A. 数ある修繕箇所の中で優先度高位

Q: 今回のテイクアウト3店舗の冷房改修は、3店舗からの要請により行うのか。

A: ㈱tobe^{※1}とテナントの双方で意見交換をする中で、夏の温度上昇について多数意見があった。数ある修繕箇所の中から優先順位をつけた結果、冷房等の改修が高位だったため行う。

※1 トゥービー株式会社 tobe…「北欧の風 道の駅とうべつ」の指定管理者である当別町の地域商社。

議会の様子を覗いてみませんか？ 下記の二次元バーコードから、質疑シーンを見ることができます。



12月8日
総務文教
常任委員会



12月9日
産業厚生
常任委員会



12月25日
総務文教
常任委員会



12月25日
産業厚生
常任委員会

【注意】 各二次元バーコードのリンク先は、当議会のウェブサイトではありません。アクセス等により何らかの損害等が生じてても当議会は一切責任を負えませんので、ご注意ください。

議案第1号 令和7年度当別町一般会計補正予算（第5号）

障害福祉サービス給付金の増額

利用者の増加及び処遇改善に伴う加算率の引き上げ等により、年度末に予算の不足が生じる見込みがあることから、障害福祉サービス給付金 7,575 万円の増額を行いました。

議員の質問・町の回答

Q. なぜ増額するのか、詳しい要因は

A. 利用者の増加と全体的日数の増加

Q: 障害福祉サービス給付金7,575万円増額の詳しい要因は。

A: 新規利用者が増加したこと、また、現在利用している方も支給額が増えた（利用日数の増加など）ことにより、予算の

増額が必要となった。

《サービス内容と増加人数》

行動援護	2名 増
共同生活援助	5名 増
就労移行支援	2名 増
就労継続支援A	4名 増

議案第1号 令和7年度当別町一般会計補正予算（第5号）

十分な介護人材の確保を

令和7年4月から開始した「介護人材確保支援事業（予算額270万円）」は、当初、全額「まちづくり基金」を財源とする事業でしたが、国から交付される「地方創生臨時交付金」を活用するため、「地方創生臨時交付金」200万円、「まちづくり基金」70万円になるように財源を更正しました。

介護人材確保支援事業

人材紹介の経費を助成し、事業所で必要な介護職員の確保ができるよう支援するもの。

人材紹介会社を介して人材を確保した

際に発生する手数料のうち、最大3分の2を町が補助する。

町内介護事業所より支援の希望があり、令和7年4月から新規事業として開始。

議員の質問・町の回答

Q. 利用状況はいかがか

A. 5事業者がマッチングに成功した

Q: 介護人材確保支援事業の経過は。各事業所から要望はあったか。

A: 町内の法人12法人のうち9法人から利用の意向があり、その9法人が各人材紹介会社にそれぞれ依頼をかけて、マッチングしている状況。現在、9事業者中5事業者がマッチングに成功した。

議案第10号 北海道医療大学連携プロジェクト基金条例制定

連携事業を推進するための基金制定

「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、北海道医療大学と連携した事業を円滑に推進するため、北海道医療大学連携プロジェクト基金を設置する条例を制定しました。

主な連携事業（「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」より）

- 学生の町内居住に向けた取り組み
- リハビリテーション科学部との連携による介護予防体操の普及
- 各種計画策定や福祉事業等への大学教員および学生の参画
- 「むし歯ゼロプロジェクト」の実施 など



詳しくはこちら

議員の質問・町の回答

Q. この基金でどんな事業を行うのか

A. 今までの連携事業を継続する

Q: 今まで大学と連携し、行っていた事業を基金で運用する理解で問題ないか。

A: 基金の主な財源は企業版ふるさと納税を検討しており、寄付される企業の意向に基づき、財源として活用する。例えば、学生の移住促進に関する取り組みやフレイル^{※1}予防等。また令和7年8月に行われた「Tobetsu Mirai Fes」もプロジェクトの一つである。

Q: この基金は「トウベツ ミライ フェスTobetsu Mirai Fes」の事業にも使える基金か。

A: 大学の協力をいただきながら進めており、連携プロジェクトの一つであることから、本事業に対する寄付があった場合は、事業費として活用させていただく。

Q. 条例制定を行う意味は

A. ルールに従って寄付を受けるため

Q: 今になってから条例制定する目的は。

A: 企業版ふるさと納税の制度上、今年度いただいた寄付を来年度以降の事業費で活用する場合は、基金に積み立てる必要がある。現時点において、寄付を検討されている企業がおられるため、制定する。

Q: 「企業版ふるさと納税を見込める事業」は1回きりか。今後の見通しは。

A: 現時点では、一度限りの寄付を検討されている企業1社であるが、今後寄付を募っていきたい。

※1 フレイル…高齢期における筋力や心身機能が低下した状態のことで、「健康な状態」と日常生活でサポートが必要な「要介護状態」の中間を意味する。町ではフレイル予防のための簡単な運動やレクリエーション、講話を行う教室を、北海道医療大学や当別町地域包括支援センターと共に実施している。

【そのほかにもこんな質疑がありました】

人権擁護委員の期数、子ども医療費増額の要因、水道管補修等の内容 など

《臨時会》議案第1号 当別町一般会計補正予算（第6号）

水道料金減免と子育て応援手当給付

物価高騰対策や子育て支援を目的とした給付・支援制度として、国より「重点支援地方交付金」が交付されました。今回、国が示した生活者などへの支援として効果的と考えられる推奨メニューのうち、速やかに実現可能な下記事業を「当別町物価高騰対策」第1弾として行います。

当別町水道料金減免事業

水道用途が家事用の利用者を対象に、水道料金の一部を減免します。

※水道料金とは「基本料金」と「水量料金」を足した額のことをいいます

- 令和8年1月使用分～3月使用分
水道料金のうち、**基本料金**及び
水量料金のうち13㎡までを減免

《今後のスケジュール》

1月下旬～ 全対象者へ減免のお知らせ送付

2月上旬～ 1月使用分の検針

※減免された金額で請求されます

収入	
水道料金	5,861万円減
地方創生臨時交付金	6,035万円
支出	
水道料金システム改修業務委託料や 郵便料など	計 174万円

物価高対応子育て応援手当

「児童手当」支給対象の児童（令和7年9月30日時点で公務員世帯も含め1,984名）を養育する父母等を対象に、児童一人あたり**一律2万円**を給付します。

※令和7年10月1日～令和8年3月31日
までに生まれた児童も対象です

《今後のスケジュール》

- 児童手当支給対象者

2月下旬～ 応援手当の通知を送付

（2週間程度）希望しない場合の申出期間

3月中旬～ 応援手当の振込

- 公務員の場合

勤務先より在職の証明書及び応援手当申請書が配布され、個別に役場へ申請をします
（支給時期は所属庁の配布状況による）

物価高対応子育て応援手当、郵便料、
振込手数料など 計 4,143万円

議員の質問・町の回答

Q. 水道料金対象外の方が出るのでは

A. 第2弾の物価高騰対策事業を検討中

Q: おこめ券等ではなく水道料金の減免を選んだ理由は。水道を利用していない50数名の方は物価高騰対策の対象外か。

A: できるだけ速やかに、経費をあまりかけない方法で、町民に還元できる事業が水道料金の減免であった。今回の事業では対象外となるが、今後「第2弾」として還元する別の方法を模索している。

Q. なるべく早く支給できないか

A. 前倒しできる分は前倒しして実施

Q: 外国籍児童も支給の対象となるか。3月中旬に振り込み予定とのことだが、支給時期を早められないか。

A: 外国籍児童も支給対象である。支給時期を前倒しできる分は前倒しして実施する。支給を希望しない方からの申出期間を2週間設けなければならないため、どうしても期間はかかってしまう。



動画はこちら

一般質問

うみのまなぶ
海野 学 議員質問の
ねらい

当別長生会の運営状況は

当別長生会は慢性的な赤字経営が続いている。特に、平成22年に町から養護老人ホームの運営を引き継いではからは顕著で、近年では主要事業である特養※1を含め、法人全体で赤字が続き資金繰りが厳しくなっ

ている。令和6年5月の臨時会において、町より9,700万円の補助を行うことが決まったが、その後の状況と町長の考えを質した。また、町内で被害が拡大する特定外来生物アライグマへの対策強化を質した。

ここが
聞きたい

9,700万円の使用状況

問

町から赤字で運営を引き継いだ養護老人ホームの経営危機に伴い、令和6年5月の臨時会で当別長生会への9,700万円補助が議決されてから約1年半が経過。現在の残高と主な使途を伺う。

答

令和6年度は人件費や光熱費、施設修繕費として6,400万円を支出し、3,300万円を翌年度へ繰り越した。令和7年11月末時点で2,000万円を人件費と光熱費に支出したと報告を受けている。



養護老人ホーム長寿園が入る社会福祉法人当別長生会

ここが
聞きたい

運営改善の内容

問

長生会より事業再編計画が提出されて以降、長生会がどのように運営改善を進め、町はどのような助言や指導を行ってきたのか、その対応状況を伺う。

答

町は2カ月に1回程度ヒアリングを行い助言した。定員縮小や有料老人ホーム新設、日用品の一部入居者負担化などに取り組んだが、人材確保が計画どおり進まず、運営改善には至らなかった。

ここが
聞きたい

今後の運営

問

今後、当別長生会の運営をどのようにしていくのか伺う。

答

長生会は単独での事業継続が困難となり、複数法人との交渉を経て、札幌市の社会福祉法人へ事業譲渡することで合意した。現在は両法人で譲渡に向けて手続きを進めていると報告を受けている。

ここが
聞きたい

高齢者を路頭に迷わせない

問

私たち議員は、町長の考えと同様に、入居されている高齢者を路頭に迷わせることがないように、また、職員の雇用も守るため議決したが、今後も町長の考えに変わりはないのか。

答

考えは変わらない。今回の合併で、入居者、施設職員ともに新たな法人が引き継ぐと報告を受けている。今後、町の福祉施策を知ってもらい、良好な関係を築いていきたい。

ここが
聞きたい

アライグマ駆除

問

アライグマによる農作物被害が増えており、地域全体で駆除に取り組む必要がある。町長の考えを伺う。

答

鳥獣被害防止計画に基づき可能な限り町内全域で捕獲している。町民の協力により箱わなを設置し、捕獲頭数が伸びていることから、今後も広報等を通じて駆除の重要性を周知し被害軽減を図る。

※1 特養…特別養護老人ホームのこと。常に介護が必要で在宅生活が困難な要介護高齢者に対し生活全般の介護を提供する施設。

一般質問

やまざき こうじ
山崎 公司 議員

質問の
ねらい

町内図書館の現状と今後の展開

①町内には「当別町図書館」と「西当別分館」があるが、町民の利用度に大きな差が生じている。利用状況の要因分析と魅力ある図書館運営、今後の展開を質した。②令和4年3月より小中一貫教育を導入。総事業

費63億円で建設された義務教育学校とうべつ学園は「施設一体型」、西当別小・中学校は「施設分離型」と両方式で一貫教育を実施。導入から4年を迎える中、成果と課題を踏まえた今後の方向性を問うた。



動画はこちら

ここが
聞きたい

利用度の差 要因は

問

本館と分館の貸し出し実績や利用者数、蔵書数が公表されているが、令和6年度以降、両図書館の町民利用度には大きな差がある。要因は何か。今後どのような対策を検討しているか。

答

本館は貸し出し利用が多く、分館はコミセン利用者の閲覧が一定数いる。分館では除却本の無償譲渡棚を設置するなど、利用促進対策をしており、両館とも引き続き魅力ある図書館づくりに努める。

ここが
聞きたい

西当別地区に新図書館を

問

今後、人口増加が見込まれること、また、図書館の利用度が高いことから、西当別地区に町の魅力を向上させる策として民間の協力を得て図書館新設を検討する考えはあるか。

答

分館は、西当別コミュニティセンターとの複合施設であることで、利便性が高いと認識している。現時点で西当別地区での新設計画はないが、利便性向上の方策は今後も模索する。

ここが
聞きたい

一貫教育への保護者の声

問

各校で実施する保護者アンケートから、現状をどう把握しているか。例年行われている中学教員による小学校での体育授業が、今年度西当別地区では中止など一貫教育への不満の声も聞く。見解は。

答

一貫教育や体験学習の充実などに対し一定の評価を得ている。一方、中学の学級減で加配教員がなくなり乗り入れ授業は実施できていないが、行事や協働体制は継続し一貫教育は維持している。

ここが
聞きたい

とうべつ未来学の充実を

問

さらなる充実を期待する。当別は明治4年の伊達邦直公の開拓をはじめ多様な地域からの入植で発展してきた。若い移住者が増える中、授業で地名の由来や地域の歴史に触れる機会が必要では。

答

町を好きになる要因となる歴史を学ぶということは非常に大切なことで学校の中でもふるさと教育の中で取り組んでいる。教員研修では「大地の侍」を上映する等、今後も歴史を大切にしていきたい。

ここが
聞きたい

西当別地区に義務教育学校

問

小中一貫教育の先進地視察では分離型でも充実した教育環境が可能と報告されている。教育環境の改善のため西当別地区にも施設一体型の義務教育学校を望む声があるが5年以内の開校は可能か。

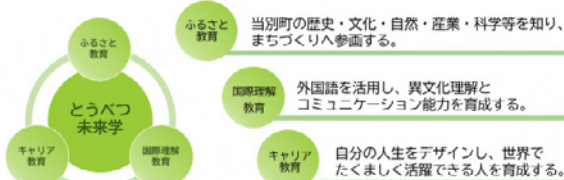
答

今後大規模改修の課題もあるため「当別町公共施設等総合管理計画」等を踏まえ、西当別地区の学校の在り方を町長部局と検討したい。また現時点で5年以内に改修・建て替えができる見込みはない。

とうべつ未来学 とは

当別町内の全小中学校で実施する教科等横断的な学習です。生活科、総合的な学習、外国語、社会などの時間で実施します。

「とうべつ未来学」3つの柱





動画はこちら

一般質問

さ さ き つね こ
佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に

①高校生の通学補助は、予算に対し多くの不用額があった。助成率を上げれば子育て世帯の負担軽減につながる。②乳がんは罹患数が全てのがんの中で最多。死亡数も増加しており、早期発見が重要である。

③防災講演会が盛況であったが、オンラインを併用することでより多くの方が参加できるのではないかと。平時から自主防災を意識し、備える人を増やすことが共助強化につながる。これらの3件について質した。

ここが
聞きたい

高校通学費支援の拡充を

問

物価高騰で保護者から通学費助成の増額に対する要望が多い。令和6年度予算960万円に対し、決算額は約260万円。この不用額で助成率引き上げや、大学・専門学校生への対象拡充は可能か。

答

本事業は昨年度開始の新制度。不用額は一時的要因によるもので、助成率引き上げの原資とするは適当でない。利用者の推移や通学実態を見ながら、助成率や対象範囲の見直しを検討する。

ここが
聞きたい

乳がん検診の受診促進

問

全てのがんの中で、乳がんは罹患数が最多。死亡数も増加傾向で、令和5年には15,763人が亡くなっている。早期発見なら生存率は高いが、進行により低下する。町の受診促進策は。

答

昨年度は11.5%が受診。満40歳の方への、乳がん検診無料クーポンの送付や、広報誌でセルフチェックの特集記事を掲載。日々の意識が早期発見につながるため、今後も周知を図っていく。

ブレスト・アウェアネスを習慣づけよう！

乳房を意識する生活習慣のことであり、乳がんの早期発見につながる、非常に大切な生活習慣です。

- ① 普段の乳房の状態を知る
- ② 乳房の変化に気をつける
- ③ 変化に気づいたら、すぐ医師へ相談する
- ④ 40歳以上の女性は2年に1度、乳がん検診を受ける



町広報2025年10月号より一部抜粋

ここが
聞きたい

30代への検診補助は

問

乳がん検診は、40歳以上の方が対象であるが、乳がんは30代後半から罹患率が急増する。30代を対象とした乳がん検診の補助も必要では。

答

国の指針では、40歳以上を検診の対象としている。30代はマンモグラフィによる検診の有効性が低く、偽陽性も多いため慎重な判断が必要。セルフチェック啓発を続け、異常時の受診を促す。

ここが
聞きたい

防災意識の向上に向けて

問

世界的に災害が増加する中、自助と備えの重要性を周知する取り組みの強化が必要ではないか。先日の地震を踏まえ、冬季の防災対策の考えは。

答

広報誌の特集や出前講座、防災セミナーを実施し、意識向上を図っている。今後も情報発信を続け、夏冬対応の備蓄整備や冬季訓練、地域での自助共助訓練などの充実を検討していく。

ここが
聞きたい

防災講演会のネット配信を

問

防災講演会の参加機会を広げるため、会場での講演とオンライン配信を併用してはどうか。また、休日や夜間に視聴できる仕組みを検討しては。

答

講師の意向や、講演内容を踏まえ、可能な場合はオンライン配信を活用し、防災知識を広く届けるよう努める。今回の講演会は講師の意向により配信を行わなかった。

一般質問

いがらしのぶこ
五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

町民目線で！わかりやすい発信を

子育て世帯の増加や住民ニーズの多様化により、公園の安全性確保、駅前駐車場の整備、公共交通の利便性向上は一層重要となっている。

現場で生じている不便や危険の実

態を把握し、住民の声を踏まえた改善策を進める必要があるとの観点から、町の方針と取組状況を質し、課題の共有と対応の促進を問うた。



動画はこちら

ここが
聞きたい

公園遊具等の整備再生計画

問

破損遊具やベンチに規制線が張られたまま放置されており、安全性に不安がある。児童公園の機能を果たせるよう、撤去後の利活用を含め、児童公園の遊具修繕計画や再生方針の有無を問う。

答

計画的整備は行っていないが地域の意見を聞いていただいている代表者と協議し、住民の意見を踏まえながら都度対応しているところである。

ここが
聞きたい

住民の声を聞き協議する場

問

それぞれの地域の児童公園の在り方について、住民の声を収集し、協議する仕組みが整備されているのかを確認する。

答

施設の更新の都度、地域の代表者と協議し、住民意見を踏まえて対応している。

ここが
聞きたい

分かりやすく公園機能整理

問

住民が遊具設置を希望する公園の中には、冬季の雪捨て場として利用される場所も。「遊具を維持する公園」と「雪捨て場中心の公園」の役割分担を整理し、住民理解を得る対策はあるか。

答

豪雪地帯という地域特性を踏まえ、冬季の利用は地域の代表者の意見を聞き、協議の上で進めている。今年度から除排雪連絡協議会で一定のルールを定め、公園への雪置きを開始している。

ここが
聞きたい

太美駅 駐車場の需要は

問

JR太美駅前の駐車場需要を把握するため、調査などを行う予定はあるか。また、駅周辺の町有地などを活用し、町民が望む駐車場の整備を進める考えはあるか伺う。

答

これまで、地域や利用者等から不足の声は聞いていないが、今後のため、新年度に現状把握を行う。整備については、駅周辺の土地利用を考慮し、総合的に検討を進めていく。

乗ろう！市街地予約型線（デマンドバス）！

エリア内なら自宅付近から町内医療機関や銀行に行ける！デマンドバスを利用しませんか？

事前予約制・平日のみ運行

「とバナビ」アプリから予約ができます。
電話からのご予約は、
(有) 下段モータース 23-2630 へ



詳しくは町のホームページへ

1便	2便	3便	4便
6:30-8:00	8:30-9:30	10:00-11:00	11:30-12:30
5便	6便	7便	8便
13:00-14:00	14:30-15:30	16:00-17:00	17:30-18:30

- 便によって運行エリアが異なります（太美エリアは運行対象外）
- 複数の人が乗降するため、目的地への到着時間に幅があります

ここが
聞きたい

病院前にバス停検討を

問

JR太美駅から本町地区へ通院する際、停留所から距離があり不便との声を聞く。地域病院前のバス停設置について、アクセス改善の検討経過と課題、今後の方向性を問う。

答

運行ルートや停留所は、利便性向上のため随時見直しを行っており、当別大通沿いの医療機関付近もデマンド運行で対応している。今後も住民ニーズの把握に努め、路線の見直しを行っていく。



動画はこちら

一般質問

かくた ひろすけ
角田 広佑 議員

質問の
ねらい

多文化共生と多様性を認め合う町

町内において外国籍の人々が増えている。今後も増加することが見込まれる。多文化を理解し、ともに町で暮らしつづけるために、町としてどのような対策を施しているか。一方、小中学校においても外国籍の児

童生徒への教育をどのように行っているか、現状と課題を伺った。

町の魅力をより一層プロモーションするために、観光大使やPR大使といった人材を委嘱することが望ましいと考える。町の方針を伺った。

ここが
聞きたい

町における外国人への対応

問

ここ数年、多国籍の方が町に在住するようになり、現在も増加傾向にある。彼らが町に溶け込み、穏やかな生活を送るために、町はどのような対応、対策を行っているか伺う。

答

転入時にライフサポートカードを配布。町ホームページで役場の手続きやごみの出し方等を多言語に翻訳する環境を整備。地域ではコミュニケーションツールの一つとして活用いただいている。

کہرئو کجریہ کو الگ اور تھکائی لکڑی کا طریقہ



براہ کرم انہیں صحیح طریقے سے الگ کریں۔

براہ کرم جھانسی کی درجہ بندی کے مطابق انہیں صحیح طریقے سے الگ کریں۔



براہ کرم بروقت تصرف کو یقینی بنائیں۔

براہ کرم جمع کرنے کے دن صبح 8:00 بجے تک باہر رکھیں۔



انہیں ٹوبیسو ٹاؤن کی طرف سے فراہم کردہ کوریج کے ٹھیلوں میں رکھیں۔

جگہ کے قابل، "ٹان بون ایل" اور "غیر آتش گیر" کوریج کے لیے، براہ کرم مقامی خوردہ فروشوں سے مخصوص ادا شدہ ردی کی ٹوکری کے ٹھیلے خریدیں اور کوریج کو ٹھکانے لگنے وقت ان کا استعمال کریں۔

نامزد کجریہ کے ٹھیلوں کی اقسام اور سائز
نامزد کوریج کے ٹھیلے (10 بیگ فی پیک)

5 لیٹر	10 لیٹر	20 لیٹر	30 لیٹر	40 لیٹر
تقریباً 100	تقریباً 200	تقریباً 400	تقریباً 600	تقریباً 800

町ホームページよりウルドゥہ語の「ごみの分別と処分方法」

ここが
聞きたい

教育現場での外国人対応

問

町で増加するパキスタン人は一族全員で移住する文化的特徴があり、小中学生も来日して通学することになる。現在の外国籍児童生徒数と、教育現場での個別対応の現状や課題は。

答

町内小中学校には25名が在籍。多くが日本語を話せない状態で入学するため、国際学級^{※1}で日本語指導を行う支援員を配置している。人数増加による対応負担と保護者との意思疎通が課題。

ここが
聞きたい

性的少数者への理解促進

問

外国人や多文化の理解に加え、多様性の理解促進も重要である。義務教育課程での、SOGI^{※2}やLGBTなどに関する教育内容や方針をどのように定めているか。

答

性教育全体計画を定め、性に関する知識の習得と性的少数者への理解を深める教育を実施している。誤解や偏見をなくし、いじめ防止や権利の尊重を図る包括的な教育を行っている。

ここが
聞きたい

性自認形成期の子ども

問

性自認は3～6歳頃から思春期にかけて形成されると言われる。その時期に一人で悩みを抱え、不登校や引きこもりに至ってしまう事例も。学校として、子どもたちへどのように対応するか。

答

教職員は児童生徒の表情や態度から悩みを早期に察知し、組織的かつ迅速に対応する必要がある。また、家庭にとっても大きな問題であるため、学校と保護者が密に連携する必要がある。

ここが
聞きたい

町のPR人材の委嘱

問

町の魅力発信を強化するため、観光やPRを担う人材を委嘱し、より一層のプロモーションを行うべきと考えるが、町でPR大使の委嘱の検討はあるか。

答

観光大使やPR大使制度の創設は町の知名度向上、情報発信力強化に有効と認識している。実現に向けて、予算措置や選定方法を含め、庁内で検討を進めているところである。

※1 国際学級…「学習するための語学能力」を習得するための取り出し授業のこと。

※2 SOGI…性的指向(好きになる性)と性自認(心の性)の各英訳のアルファベットの頭文字を取った「性の多様性」を表す言葉。すべての人が持っている属性のこと。

一般質問

よしかた ゆき お
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

養護老人ホームと不登校対応

当別長生会が運営を行っている養護老人ホーム長寿園の運営体制が、新たな事業者へと引き継がれると聞いているが、現状の正確な情報と、地域福祉のさらなる前進の方向性について質す。

全国的に、不登校対応に多くの時間を要していることが問題。教職員の時間と心のゆとりをなくすことについて、当別町の現状と今後の展望について質す。



動画はこちら

ここが
聞きたい

生活継続と措置責任

問

最も大切にすべきは、入所者が安心して生活できる環境の維持である。新事業者の運営下でも、入所者が従来どおり安心して生活を続けられるよう、町はどのように支えていく方針か。

答

町は老人福祉法に基づき、措置に必要な予算を確保し、入所者の生活を継続して支える責務があるという認識に変わりはない。

ここが
聞きたい

新事業者との関係構築

問

新事業者との協力体制を構築し、町民サービスと地域福祉の質を高めることが重要と考える。今後、新事業者との協議において、町がどのように連携を深め、円滑な関係を築く考えかを問う。

答

新事業者は札幌の法人で、町での事業は初めてである。町の福祉施策への理解を深めてもらいながら、より良い関係を構築していく。まずは休止中の事業再開を期待したい。

ここが
聞きたい

教職員の業務負担の実態

問

町の学校現場において、不登校対応に必要な時間や人員などの労力が、従前と比べてどう変化しているのか。不登校対応が授業準備など本来業務を圧迫しているとの認識があるかを問う。

答

子どもを取り巻く環境の多様化により学校対応は複雑化し、教職員の業務量は増えている。一方で、不登校への対応は本来の業務の一つであり、本来業務の圧迫には当てはまらないと考える。



校内教育支援センター「からふる」(とうべつ学園内)

ここが
聞きたい

時間と心のゆとりの確保

問

学校運営やチーム学校の体制を踏まえ、教職員の時間と心のゆと리를確保する施策をどう進めるのか。国・道への教職員定数増や加配措置継続の要望、支援員等の活用を進める考えはあるか。

答

特定の教職員に負担が偏らぬよう、学校全体で対応する体制を整えている。定数や加配措置は制度を活用して人員確保に取り組み、必要に応じスクールカウンセラー等の体制整備を進めている。

ここが
聞きたい

今後の方向性は

問

義務教育学校の特性を活かし、多くの目で児童生徒を見守ることが教育の質を高めると考える。教職員の働き方を踏まえいじめや不登校などの学校課題に今後どう取り組むのか。

答

校内外の支援センター設置や、メタバース※1等を活用した多様な学びの場を整え、支援体制を充実させることで、全ての子どもを社会と未来へつなぐ取り組みを進める。

※1 メタバース…超越 (Meta) と宇宙 (Universe) を組み合わせた言葉で、インターネット上に構築された3次元の仮想空間のこと。

議員表彰

当別町自治貢献賞表彰

11/3 表彰式（当別町）

やまざき こうじ 山崎 公司 議員は、10年にわたり町議会議員として活動し、町の自治進展に貢献したとして、その功績が認められ、「当別町自治貢献賞」を受賞されました。



後藤町長より表彰を受ける山崎議員

議員表彰

北海道社会貢献賞（自治功労者）表彰

11/20 表彰式（北海道）

いなむら かつとし 稲村 勝俊 副議長は、長年にわたり地方自治の振興と発展に貢献したとして、その功績が認められ、令和7年度「北海道社会貢献賞（自治功労者）」を受賞されました。

11月20日に開催された表彰式では、すずき なおみち 鈴木 直道 知事より稲村副議長へ表彰状が贈呈されました。



受賞直後の稲村副議長

令和7年第4回定例会

日程：12月5日～12日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 6名 議会中継視聴回数 813回（1/21現在）

【議員提案】

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

◎

—

【専決処分】

和解及び損害賠償額の決定について

令和6年11月15日に発生した自動車の物損事故について、損害賠償額を定め和解する専決処分の承認を求めるもの

◎

—

和解及び損害賠償額の決定について

令和7年9月27日に発生した車両損傷事故について、損害賠償額を定め和解する専決処分の承認を求めるもの

◎

—

【人事案件】

人権擁護委員の候補者の推薦について

白井 応隆 氏の任期満了に伴い、同氏を再推薦しようとするもの

◎

—

人権擁護委員の候補者の推薦について

渡部 泰夫 氏の任期満了に伴い、同氏を再推薦しようとするもの

◎

—

【補正予算】

令和7年度一般会計補正予算（第5号）

2億989万円を増額し、総額を145億4,456万円とするもの

◎

p.2-
p.3

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

37万円を増額し、総額を22億904万円とするもの

◎

—

令和7年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

472万円を増額し、総額を17億5,266万円とするもの

◎

—

令和7年度水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出の配水及び給水費を900万円増額等するもの

◎

—

令和7年度下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出の管渠費を37万円増額等するもの

◎

—

令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

1,895万円を増額し、総額を3億4,202万円とするもの

◎

—

【その他】

当別町道路線認定

私道を町道として認定する為、議会の議決を得ようとするもの

◎

—

【条例】

当別町職員の給与に関する条例及び当別町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

◎

—

職員の給与の改定等を行うための条例の一部改正

当別町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

◎

—

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく地方公共団体情報システムの標準化に伴う条例の一部改正

当別町議会議員及び当別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

◎

—

公職選挙法施行令の一部改正に伴う条例の一部改正

北海道医療大学連携プロジェクト基金条例制定

◎

p.4

北海道医療大学連携プロジェクト基金を設置するための条例制定

当別町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

◎

—

児童福祉法の規定に基づき、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

当別町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定

◎

—

子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例制定

◎

—

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の一部改正

当別町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

◎

—

企業職員の住居手当について改正するための条例の一部改正

【委員会報告】		
総務文教常任委員会報告 道内所管事務調査の実施について	◎	—
産業厚生常任委員会報告 道内所管事務調査の実施について	◎	—
議会運営委員会報告 道内所管事務調査の実施について	◎	p.13
【請願・陳情】		
《令和7年第3回定例会（9月）総務文教常任委員会へ付託》 旧当別町開拓郷土館等の収蔵資料の活用を要望する陳情書 〔提出者〕青柳 文吉 ※旧開拓郷土館等の収蔵資料の活用や郷土資料館の設置を求めるもの	趣旨採択	—
《令和7年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の採択を求める請願 〔提出者〕太美地域社会保障勉強会 会長 菊地 眞生 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求めるもの	不採択	—
《令和7年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 当別町町内会総連合会（仮称）の結成支援と行政推進員の廃止に関連する陳情書 〔提出者〕太美南町内会 会長 林 剛 他 ※当別町町内会総連合会（仮称）の結成支援と行政推進員の廃止を求めるもの	不採択	—
《令和7年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 町内会への活動支援制度の充実強化に関する陳情書 〔提出者〕太美南町内会 会長 林 剛 他 ※各町内会への活動支援金の増額等を求めるもの	不採択	—
《令和7年第4回定例会（12月）総務文教常任委員会へ付託》 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書の採択を政府に求める請願 〔提出者〕北海道教職員組合石狩支部当別支会 書記長 佐藤 宙 〔紹介者〕当別町議会 議員 角田 広佑 ※義務教育費国庫負担金の負担率2分の1への復元や少人数学級の実現など教育予算拡充とゆたかな学びを求めるもの	継続審査	—
《令和7年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》 地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める意見書の採択を求める請願 〔提出者〕太美地域社会保障勉強会 会長 菊地 眞生 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求めるもの	継続審査	—
《令和7年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》 安心して必要な介護を受けられるように制度の改善を求める意見書の採択を求める請願 〔提出者〕太美地域社会保障勉強会 会長 菊地 眞生 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※安心して必要な介護を受けられるように制度の改善を求めるもの	継続審査	—

令和7年第2回臨時会

日程：12月25日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴 0名 議会中継視聴回数 163回（1/21現在）

【専決処分】		
和解及び損害賠償額の決定について 令和7年6月5日に発生した公用車の人身事故について、損害賠償額を定め和解する専決処分の承認を求めるもの	◎	—
【補正予算】		
令和7年度一般会計補正予算（第6号） 1億5,370万円を増額し、総額を146億9,826万円とするもの	◎	p.5
令和7年度水道事業会計補正予算（第2号） 収益的支出の総係費を174万円増額等するもの	◎	—

議会運営
委員会

道内の新庁舎を視察

10/28・29 道内所管事務調査

芽室町、新得町、大樹町を訪問し、
新庁舎整備について研修を行いました。



芽室町役場 議場にて



研修の様子（新得町）



説明を受ける様子（新得町）



大樹町役場 議場にて

各自治体から新庁舎建設にかかる事業費や財源内訳、住民等との合意形成において配慮した点等について説明を受けるとともに、意見交換を行いました。

議会のうごき（令和7年11月～令和8年1月）

11月 5日 栃木県壬生町議会会派行政視察来庁	12月 12日 議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会
19日 総務文教常任委員会 新庁舎建設特別委員会	議員協議会 議会広報特別委員会
産業厚生常任委員会	18日 議会広報特別委員会
21日 会派代表者会議 議会運営委員会	25日 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会
12月 1日 議会運営委員会	議会運営委員会 議員協議会 第2回臨時会
5日 議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会	議会広報特別委員会
8日 総務文教常任委員会	1月 13日 議会広報特別委員会
9日 産業厚生常任委員会	21日 議会運営委員会
10日 第4回定例会	28日 新潟県南魚沼市議会会派行政視察来庁
11日 第4回定例会 産業厚生常任委員会	

議会を傍聴しませんか？

だれでも自由に傍聴できます



次回の定例会は
3月3日（火）～18日（水）です

内容は

新年度予算審査、代表質問 などを
予定しています



- ※ 本会議や委員会の傍聴が可能です
- ※ 詳しくはホームページをご覧ください

傍聴方法

- ①役場3階 議場傍聴席へ
- ②「傍聴人受付票」に住所と氏名を記入し、受付箱に投入
- ③「次第」を持って入場

※入退場自由

ネット中継視聴方法

本会議と常任委員会の様子を、
インターネットにより配信しています。
いつでも視聴できます（ライブ中継、
録画視聴）。



編集後記

昨年12月議会にて、こども家庭センター開設に伴う補正予算が承認されました。家庭センターの役割は、町内全ての子ども、その家庭並びに妊産婦等に対し、「児童福祉」と「母子保健」の両機能による一体的な相談支援を行い、妊娠期から子育て期まで切れ目なく効果的な包括的支援を提供することです。センターの支援は、多くの方々のあたたかい励みにつながるものと考えております。

紙面の編集にあたっては、事務局の協力のもと、工夫を重ねてまいりました。皆さまのご意見・ご感想をぜひお寄せください。

議会広報特別委員会 委員 芳形 幸夫

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

【議会事務局】

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

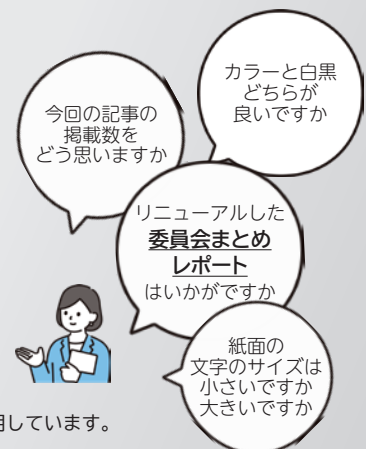
～ WEB アンケートも実施中～

読者 WEB アンケートを実施しています。下記の二次元バーコードから回答できます。今後の紙面作成の参考としますので、ご協力よろしくお願いします。



アンケートはこちら

※ 電子申請システム「LoGo フォーム」を利用しています。



議会広報特別委員会

委員長 佐々木 常子 / 副委員長 角 田 広 佑 / 委 員 櫻 井 紀 栄
委 員 芳 形 幸 夫 / 委 員 海 野 学